

平成25年4月1日
日本生命保険相互会社

平成25年度 入社式 社長挨拶

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信）は、平成25年4月1日に入社式を行いました。
社長挨拶の主旨は以下のとおりです。

<日本生命の精神>

日本生命は、今年度で125年目を迎えます。明治22年の創業以来、「共存共栄」「相互扶助」という生命保険事業の基本精神に基づき、「お客様第一主義」を貫いてきました。この長い歴史の間には、幾多の戦乱や震災など、困難や危機に直面したこともありましたが、その時代その時代を担った職員が懸命にバトンを受け継ぎ、乗り越えてきました。これは、連綿と受け継がれてきた「お客様を第一に考える」という日本生命の基本精神が根付いていたからであり、新入職員の皆さんもこの基本精神を心に刻んで欲しいと思います。

<日本生命のこれからの取組 - 3カ年経営計画「みらい創造プロジェクト」>

我が国の生命保険業界は少子高齢化や人口減少を背景に成長が難しいという意見もあります。しかし、高齢化の進展に伴う医療・介護の保障や老後の年金など多様なニーズを持つシニア層に加え、ライフスタイルの変化が進む女性層、社会保障や雇用での将来不安がある一方で保険加入率の低い若年層など、まだまだ訴求できていない保障ニーズは多く存在しており、国内マーケットにおける我々のビジネスチャンスは大きく広がっていると考えます。したがって、社会保障制度を補完する我々の役割、国民に「安心を届ける」という社会的使命は、これから益々大きくなっていくと思います。

このような認識のもと、私は社長就任時に、「真に最大・最優、信頼度抜群の生命保険会社になる」という大きな目標を掲げ、3カ年経営計画「みらい創造プロジェクト」を昨年度スタートしました。その軸は3点、「新しい総合保険サービスを活用した販売量の増大」「財務・収支基盤の強化」「人材育成」であります。

「新しい総合保険サービスを活用した販売量の増大」の中心は、新商品「みらいのカタチ」であります。「みらいのカタチ」は、「日経優秀製品・サービス賞優秀賞（日本経済新聞社主催）」と「第23回読者が選ぶネーミング大賞（日刊工業新聞社主催）」をW受賞するなど、お客様やメディアから高い評価をいただいております。「販売量の増大」については、着実な前進を実感しています。

そして今年の4月からは新たに「ニッセイ学資保険」を発売し、24時間電話で育児相談が可能な「育児相談ほっとライン」も同時に開始致しました。

2つめの軸「財務・収支基盤の強化」については、お客様に安心をお届けするため、経営の屋台骨である自己資本の更なる強化に取り組んでいくと共に、この自己資本を活かした海外の有力な金融機関や保険会社との「強者連合」の拡充に努め、その利益をお客様へ長期的に還元してまいります。

3つ目の軸「人財育成」については、<皆さんに期待すること>としてお話しします。

<皆さんに期待すること>

(1) 変革に積極的にチャレンジして欲しい

若手・女性職員が中心となった社内プロジェクトチームを組成し、サービス向上や収益拡大に向けた改善策を提言する「みらい創造提案活動」を「みらい創造プロジェクト」と同時にスタートしました。新サービス「育児相談ほっとライン」は女性職員だけで組成されたプロジェクトチームからの提言で実現したものです。このような闊達な社風の中で、皆さんも失敗や恥を恐れず、臆することなく思っていることを発信してください。

(2) 一人ひとりがNO.1のプロフェッショナルになって欲しい

皆さんのような新入職員も、お客様から見れば一人ひとりが日本生命の代表です。プロフェッショナルとして、お客様の信頼にしっかりお応えするため、担当となった仕事について徹底的に勉強し、「この分野では絶対誰にも負けないNO.1だ」というものを持ってください。

(3) 自らの会社と仕事に誇りを持って欲しい

日本生命は、「お客様に安心をお届けする」という気高い使命を担っています。その使命を確実に果たしきる日本生命という会社と、その会社で自分が担当する仕事に誇りを持ってください。これまで日本生命の繁栄を支えてきたのは「闊達な社風」と、そこで発揮される「人間力、組織力」です。皆さんには個性を存分に発揮し、互いに切磋琢磨し、人間力豊かな人財に育てていただきたいという思いで一杯です。ここにいる一人ひとりが、お客様と日本生命、そして全職員の「みらい」を「創造していく」という気概を持って臨んでいただき、元気にご活躍されることを大いに期待しています。

以 上